

平成26年度第3回川崎区区民会議だれもがいきいき暮らす部会摘録

日時：平成26年9月2日（火）午後6時30分

場所：川崎区役所7階会議室

出席者（敬称略）

委員 9名

新井トキ子、荒巻裕子、石渡勝朗、知念ジョアンナ、中村紀美子、朴昌浩、原千代子、森脇卓郎、山田義孝

欠席 畑敏雄

参与 0人

傍聴 0人

1 開会

事務局<会議の成立、会議の公開、会議の事前公表、会議録の摘録公表、摘録の確認、写真撮影を説明。傍聴の有無の確認。配布資料の確認>

2 議題

(1) 第1回、第2回専門部会の審議内容をふまえた審議課題の選定について

事務局<資料1、参考資料1～3について説明>

原部会長 今日(きょう)の議論(ぎろん)の中で、大きな3つの柱(はしら)について、具体的な審議課題(しんぎかだい)を絞(しぼ)っていただければと思います。部会間(ぶかいかん)の課題(かだい)の重複(じゆうふく)については、具体的な審議課題(しんぎかだい)が決(き)まってから整理(せいり)したいと思います。区民会議(くみんかいぎ)はプロセス(ぷろせす)も含(こ)め、課題解決(かだいかいけつ)に向(む)かって議論(ぎろん)しますので、その点(てん)も踏(ふ)まえた意見(いけん)を伺(うかが)えばと思います。

山田委員(やまだいん) 地域(ちいき)における見守り活動(みまも)については、民生委員(みんせいいん)と町内会(ちょうないかい)で相互(たが)にどうしていけばいいかという点(てん)を検討(けんとう)したいと思います。

原部会長(はらぶかい) 前回(ぜんかい)、社会福祉協議会(しゃかいふくしきょうぎかい)で見守り活動(みまも)の調査(かっどう)をする話(わ)が畑委員(はたいん)から出(で)ていました。それら(それら)を踏(ふ)まえて連携(れんけい)の強化(きやうか)を課題(かだい)とするということですね。

森脇委員(もりわきいん) 見守り活動(みまも)という(いう)と高齢者(こうれいしゃ)に限(かぎ)るイメージ(いめーじ)があります。子ども(こ)も含(こ)めて網羅的(もうらてき)に見守り活動(みまも)の基礎調査(きそちやうさ)をしてはどう(どう)でしょうか。

2番(ばん)めの世代間交流(せだいかんこうりゅう)については悩(なや)ましいと思(おも)いました。地域(ちいき)を育(はぐ)むまちづ

くりぶかいとちようふくがあり、ほうこうせいが見いだせません。
3ばんめのがいきくにんについてはぼうさいでまえこうざがいいと思います。

ばくいん ちいき みまも かつどう じゅうじつ しゃかいてき ほんでい
朴委員 地域における見守り活動の充実については、社会的なハンディ
きゃっぷをもっている方や子ども、外国人の見守りも含めて検討してはどうか
とおも
と思います。

また、せっかくみんせいいいんやほごしなどのしゃかいてきしげんがありますが、これらの
ひとびと つた こうほう おも
人々に伝わっていないので広報してはどうかと思います。

がいきくにん ぼうさいでまえこうざ ことば かべ ばあい おも
外国人の防災出前講座は、言葉の壁がある場合もあるので、いいと思います。
ぼうさい ちいき はぐく ぶかい ごうどう おも
防災については、地域を育むまちづくり部会と合同でやってもいいかと思
ました。

なかむらいん たちばたちば みまも おも ちょうないかい かか ひと
中村委員 立場立場の見守りがあるとおもいます。町内会に関わりたくない人が
おお こそだ ぐる ーぶ ちいき らく とお
多くなっていて、子育てグループなど地域でやれば楽なのに、遠くにいてい
る場合があります。

2つのぶかいでかさぶぶんがきになります。

はらぶかい もりわきいいん きそちようさ はなし で
原部会長 森脇委員から基礎調査をやってはどうかという話が出ましたが、
かつどうないよう し おも
活動内容を知ることにつながれるかと思いました。

ちねんいいん がいきくにん ぼうさいでまえこうざ おも
知念委員 外国人の防災出前講座はいいと思います。
せだいかんこうりゅう おお て ーま おも がいきくにん に ゆー かま ー こうりゅう
世代間交流は大きなテーマだと思ひます。外国人のニューカマーも交流し
たいという意向があります。調査もいいですが具体的な検討ができればと思ひ
ます。

いしわたいいん ぎじろく ちいき はぐく ぶかい ぶかい ちようふく
石渡委員 議事録をみると地域を育むまちづくり部会では、部会間の重複につ
いてあまり話がでていないようでした。地域を育むまちづくり部会の
せだいかんこうりゅう そくしん ちいき こみゆにてい かつせいか ちようふく おも
「世代間交流の促進、地域コミュニティの活性化」が重複していると思ひま
す。

だれもがいきいき暮らす部会では、3つの柱はやりたいところずす。地域に
みまも かつどう ちょうないかい きほん おも さいがいじようえんごしや
おける見守り活動は、町内会が基本になるかと思ひます。災害時要援護者
について行政でやるという話がありました。そうなると災害時要援護者につ
いては抜けて、こうれいしや こども かいごほけん ふりこめ さぎ てーま
ぬ 高齢者、子ども、介護保険、振り込め詐欺がテーマとなり、
ちょうないかい ゆうあいちーむ みんせいいいん じしゅぼうさいそしき みまも そしき かんが
町内会、友愛チーム、民生委員、自主防災組織が見守る組織となると考えら

れます。

子どもについては、町内会の見守り活動があります。川崎区内全体として充実して発展していく必要があると思うので、まずは実態調査、アンケート調査をすべきだと思います。全部は無理なので絞ってアンケート調査をして実態を把握してはどうでしょうか。

世代間交流の促進についても、子育て支援団体や子育て支援センターの実態調査をすべきだと思います。②の小中学校、高等学校のボランティアでの世代間交流も調査してはどうでしょうか。

外国人については、アンケート調査の結果がいつ頃出てくるのか、間に合わないのであれば、独自でアンケート調査をしてはどうでしょうか。

これらを調査した後に、関連団体の情報交換会をやりたいと思います。4期では大師地区の子育て支援団体の情報交換会を行いました。5期では他の地域でやって、最終的には川崎区でネットワークをつくってはどうかと思っています。

原部会長 関連団体の情報交換会は子育て団体についてでしょうか。

石渡委員 4期では、子ども育成支援団体情報交換会を実施し、それぞれの団体の活動内容を紹介してもらいました。定期的に活動してもらうために、最初は区民会議がやってはどうかと思っています。

荒巻委員 両隣がわかっているれば見守りも世代間交流もスムーズに進むと思いました。それをどうやればいいかがわからないところです。

新井委員 前回の会議では災害時要援護者から話が膨らんだと思いますが、それだと両部会の仕分けが難しいのかと思います。それぞれの審議課題が漠然としていて、的が絞りにくいと感じました。

今日、民生委員で小中学校の先生との懇談会がありました。その中で、子どもたちが外目では悪い姿が見えなくなっているけれど、メールやラインで悪口を言い合ったり、いじめが出てきたりしているという話がでました。課題の審議の中にも、このような現状を取り込んでいくことが必要ではないでしょうか。

原部会長 私の意見としては、地域における見守り活動では、高齢者や障害者、子どもなどについて、見守っている団体の活動内容の実態調査ができればいい

おも
と思います。
せだいかんこうりゅう じったいちょうさ かだい み おも
世代間交流については、実態調査をやると課題が見えてくると思います。ま
た、こ いくせいしえんだんたいじょうほうこうかんかい ほか ちく ぜんだ
子ども育成支援団体情報交換会を他の地区でやることのお膳立てをして
はどうでしょうか。

がいこくじん かわさきく くみんかいぎ かだい ほこ
外国人については、川崎区の区民会議だけがやっている課題なので誇ってい
おも
いとと思います。

ぜんかい わだい がいこくじんしみんいしきじったいちょうさ かわさきく とくちょう
前回、話題になった外国人市民意識実態調査については、川崎区の特徴が
わかるように集計を工夫してもらえよう区民会議としてお願いできればと
おも
思います。

がいこくじんしみん たいしょう ぼうさいでまえこうざ きょういくぶんかいかい ほんごしきじ
外国人市民を対象とした防災出前講座ですが、教育文化会館の日本語識字
がつきゅう と く はなし
学級でも取り組むという話がでているそうです。ふれあい館とカトリック
かいづかきょうかい れんけい はなし で
貝塚教会との連携の話も出ています。

ひととお いけん うかが おも
ひと通りご意見を伺いました。これからまとめていきたいと思いますが、
しんぎかだい ぶんや ぐたいき しんぎないよう
3つの審議課題の分野で、具体的な審議内容は2～3ぐらいでしょうか。

もりわきいん しんぎかだい ぶんや ほう ほうこうせい おも
森脇委員 審議課題の分野ごとに1つずつの方が、方向性がはっきりすると思
ます。

ちいき みまも かつどう だんたい ちょうさ なに み
地域における見守り活動については、団体の調査をして、そこから何が見え
てくるか、かだい なに なに けんとう
課題は何か、何をすればいいかを検討してはどうでしょうか。

がいこくじん ぼうさいでまえこうざ しょうてん あ おも
外国人については、防災出前講座に焦点を当てることでいいと思います。
せだいかんこうりゅう せだいかんこうりゅう こそだ かんけいだんたい れんけい
世代間交流については、「世代間交流」なのか、「子育て関係団体の連携」な
のかによってぜんぜん違うのではないのでしょうか。どっちかにしてん さだ ほう
がやりやすいと思います。

はらぶ かいちょう みまも かつどう こうれいしゃ こ しょうがいしゃ みまも かつどう
原部会長 見守り活動では、高齢者だけでなく、子ども、障害者を見守る活動
じったいちょうさ れんけい かた さぐ
の実態調査をし、そこから連携のあり方を探るということでいいでしょうか。

いしわたいん みまも かつどう ちょうないかい ちゅうしん ちょうないかい
石渡委員 見守り活動については、町内会が中心になっているので、町内会に
あんけーと だ かくちく ちゅうしゅつ
アンケートを出してはどうでしょうか。各地区から抽出してやってみる。

せだいかんこうりゅう こそだ かんけいだんたい れんけい おも ちょうさ
世代間交流の①については「子育て関係団体の連携」が主で、そのための調査
になろうかと思おも だんたい ようし きにゅう かつどうないよう
います。4期では団体に用紙に記入してもらって活動内容を
はあく ご じょうほうこうかんかい
把握し、その後、情報交換会をやりました。

②については、がっこう せだいかんこうりゅう しら おも
学校における世代間交流を調べたらどうかと思います。

がいこくじんしみん でまえこうざ こんねんどちゅう なか
外国人市民では、出前講座であれば今年度中にできるし、その中で

アンケートをすれば、要望が把握できると思います。
荒巻委員の読み聞かせは、①か②か、どちらで活かせると思いますか。

荒巻委員 「地域子育て支援センターふじさき」でやっていますが、ここは小規模なので親の関係が密になっています。読み聞かせは月1回で、5～6年継続しています。最近、お孫さんを連れてくる人が増えていて、子どもを通じた世代間交流になっているのではないかと思います。

石渡委員 拠点がどういうところにあると人が集まるのでしょうか。

朴委員 子育て支援センターを併設していない保育園がありますが、支援センターの設置基準は決まっていますか。

事務局 特に決まっていません。 ※区内には8箇所設置

新井委員 「子育てサロン大師」では、夏休みに中高生がボランティアで絵本の読み聞かせをしています。子どもがとても熱心で、子ども同士だと互いに引き合っている感じを受ける。

朴委員 特別養護老人ホームと子どもの交流ができるといいかと思います。

中村委員 幼児と高齢者のドッキングはいいと思いますし、歌を歌うなどデイサービスの行事と幼児の行事は共通するものがありますし、本来的にはそれぞれの町会に拠点があればいいと思うので、モデル的にやってみてはどうでしょうか。また、地域を育むまちづくり部会の世代間交流や地域コミュニティの活性化は、こちらの部会で議論してはどうでしょうか。

事務局 地域を育むまちづくり部会には、この部会の話をお伝えしています。地域を育むまちづくり部会では、防災と公園について議論が深まっています。世代間交流や地域コミュニティの活性化は、議論が深まっていますが、残している状況です。

原部会長 「地域における見守り活動」については、高齢者、子どもを見守る活動の実態調査を行いながらどういう連携があり得るかを検討してはどうかと思

います。その中に世代間交流も出てくるかと思ひます。すべて区民会議が調査するといふのではなく、社協でも調査するといふことですし、既存の調査を活用するといふ方法もあると思ひます。

「世代間交流の促進」については、子ども育成支援団体の情報交換会をやつてはどうでしょうか。田島地区などに広げ、区内での情報交換会の設立をめざしてはどうかと思ひます。

また、絵本の読み聞かせを通じた世代間交流について検討してはどうでしょうか。モデル町会で取り組み、それがよければ普及していくといふことも考へられます。

「外国人市民も暮らしやすいまちづくり」については、外国人市民実態調査の中で川崎区の特性を示してほしいといふこと、また、外国人市民を対象とした防災出前講座を外国人支援グループの連携で実施してはどうでしょうか。それによつて支援グループの連携も進んでいくかと思ひます。

中村委員 外国人市民を対象とした防災出前講座はどういう内容でしょうか。

原部会長 教育文化会館に識字学級で数十人が来ていますが、通訳の人に来てもらつて、そこで地域の避難場所を知つてもらふなどの防災知識を高めることが考へられます。本庁に出前講座のスライドがあるのでそれを活用することも考へられます。

カトリック貝塚教会では100人ぐらい集まつていて、その中に社会委員会があるので、そこと本庁の危機管理部とふれあい館が連携して実施することを考へています。

中村委員 緊急避難について多言語で伝えるということもあります。

原部会長 支援グループの人たちが防災情報を伝えることが重要かと思ひます。

森脇委員 防災について何を知つてもらいたいのか、外国人市民が何を知りたいかを把握した方がいいと思ひます。出前講座をやつてみて、アンケートをするなど、精度を上げていく必要があります。

原部会長 単年度ではなく、毎年取り組むことが考へられます。

もりわきいん 森脇委員 その取っ掛かりや内容を固めることが区民会議のやることかと思
います。

なかむらいん 中村委員 子ども育成支援団体の情報交換会については、大師地区でやっ
ているので、その後どうなっているのか調べることと、新たに田島地区と中央地区
で開催するということになりますか。

はらぶかいちょう 原部会長 進め方は検討しながら決めていきたいと思
います。

ばくいん 朴委員 町内会と外国人市民との防災訓練の資料があれば出してほしいと思
います。

(2) 審議スケジュールについて

じむきょく 事務局 <資料2について説明>

はらぶかいちょう 原部会長 スケジュールについてご意見があれば願
いします。

[特に意見なし]

3 その他 審議課題に関連する視察・ヒアリングについて

なかむらいん 中村委員 絵本の読み聞かせや識字学級を見学に行っ
てはどうでしょうか。

あらまきいん 荒牧委員 支援センターを借りているので一存では難
しいですが、月1回やっ
ているので可能ではあります。また、9月6日の子育てフェスタにも出
ます。

もりわきいん 森脇委員 事務局から支援センターに話をしてもらっ
てはどうでしょうか。

じむきょく 事務局 調整します。

あらいいいん 新井委員 区社協の関係で読み聞かせをしている団
体もあります。

ふくくちょう 副区長 子どもの関連の部署に視察先の候補を聞
いてみます。

はらぶかいちょう きょういくぶんかかいかん くみんかいぎ れんけい すいようび
原部会長 教育文化会館でも区民会議と連携したいということなので、水曜日
の夜の視察は大丈夫だと思います。
また、何かありましたら追ってご連絡をいただければと思います。

いしわたいいん こそだ しえんせんたー ちょうさ
石渡委員 子育て支援センターを調査してはどうでしょうか。

はらぶかいちょう おも
原部会長 それもやっていければと思います。

ふくくちょう こんかい しんぎ てーま ないよう で おも こんご すす なか
副区長 今回、審議テーマと内容が出てきたかと思っています。今後、進めていく中
でも出てくるかとおもいますので、柔軟な対応をしていければと思います。
みなさんも会議の席で、また、その他でも事務局にご意見を伝えていただけれ
ばと思います。
こそだ ふえすた ぜんかい にん あつ ことし つうやく かた
子育てフェスタでは前回、1000人ぐらいが集まっています。今年は通訳の方も
来てくれるということです。読み聞かせも楽しみです。
どうもありがとうございました。

ごごじ ふんへいかい
午後8時20分閉会

いじょう
(以上)

だい き かわさきくくみんかいぎ しんぎかだい
第5期川崎区区民会議の審議課題について

ちいき はぐく ぶかい
＜地域を育むまちづくり部会＞

しんぎかだい ぶんや 審議課題の分野	しんぎかだい ぐたいてき ないよう ほうこうせい 審議課題の具体的な内容・方向性
ぼうさいたいさく 防災対策	さいがいはっせいしよき ひつよう じょうほう の ぼうさいま っ ぶ さくせい ◎災害発生初期に必要な情報のみを載せた防災マップの作成 ま い ぼうさいてちょう さくせい つう かぞくぼうさいかいぎ すいしん ◎マイ防災手帳の作成を通じた家族防災会議の推進 じしゅぼうさいそしき かた けんとう ◎自主防災組織のあり方の検討
こ ども の あそ び ば 子どもの遊び場づくり	こ じゆう しぜん ば かくほ そうしゅつ ◎子どもが自由に自然にふれあえる場の確保・創出 こうえん かんりうんえい かた けんとう きんしじこう せいり ◎公園の管理運営のあり方の検討（禁止事項の整理など）
こうつうあんぜん 交通安全	じてんしゃま な ー こうじょう けんとう ◎自転車マナー向上の検討

く だれも が いきいき 暮らし ぶかい
＜だれもがいきいき暮らす部会＞

しんぎかだい ぶんや 審議課題の分野	しんぎかだい ぐたいてき ないよう ほうこうせい 審議課題の具体的な内容・方向性
ちいきかつどう じゅうじつ 地域活動の充実	かくだんたい じっし こうれいしゃ こ みまも かつどう じったい ◎各団体に実施している高齢者・子どもを見守る活動などの実態 ちょうさ かくだんたい れんけい けんとう 調査と各団体の連携の検討
せだいかんこうりゅう そくしん 世代間交流の促進	こ いくせいし えんだんたいどうし じょうほうこうかんかい かいさい てんかい ◎子ども育成支援団体同士の情報交換会の開催・展開 えほん よ き せだいかんこうりゅう ちょうないかい も での じっし ◎絵本の読み聞かせによる世代間交流、町内会でのモデル実施
がいこくじんしみん く 外国人市民が暮らしや すいまちづくり	がいこくじんし えんだんたい れんけい ぼうさいでまえこうざ かいさい ◎外国人支援団体と連携した防災出前講座の開催 がいこくじんしみんいしき じったいちょうさ かわさきく とくせい はあく (外国人市民意識実態調査による川崎区の特性の把握)